



変換

June 29, 2007 OL-12434-01-J

この章では、Cisco BTS 10200 ソフトスイッチの変換確認コマンドについて説明します。変換確認コマンドは、ダイヤルされたディジットに基づいて、発信者から特定の宛先へのコールをシミュレートする診断コマンドです。このコマンドでは、コールを発信せずに、システム変換をチェックし、期待どおりにルーティングが実行されるかどうかを確認できます。ただし、コールトレースのクエリーと変換クエリーの両方を使用して、コールのルーティングを確認することが必要な場合があります。変換コマンドの結果が、フリーダイヤルコールまたは Local Number Portability (LNP; 市内番号のポータビリティ) コールの生成を示す場合は、フリーダイヤルクエリーまたは LNP クエリーのコマンドを実行します。フリーダイヤルクエリーまたは LNP クエリーの結果を使用して、別の変換クエリーを生成します。トラブルシューティングで変換コマンドを使用する方法の詳細については、『Cisco BTS 10200 Softswitch Troubleshooting Guide』を参照してください。



(注)

変換確認コマンドは、マニュアルで Translation Verification Tool (TVT; 変換確認ツール) と呼ばれることもあります。



(注)

この章では、トークン名の前にアスタリスクがある場合、トークンが必須であることを意味します。トークンにアスタリスクがない場合は省略可能です。

コマンドタイプ

translate line、translate trunk

例

```
translate line calling-dn=2189722345; called-dn=8002550005
```



注意

translate line は Centrex グループではサポートされていません。

```
translate trunk tgn-id= 1; called-dn=7034321234;
```

使用上のガイドライン

外部キー：tgn-id

シンタックスの説明	* CALLED-DN	回線およびトランクの変換に必須です。着番号。 VARCHAR(32) : npa-nxx-xxxx 形式の 1 ~ 32 の ASCII 文字。
	CALLING-DN	回線の変換には必須です。発信者の電話番号。 VARCHAR(10) : npaxxxxxxx 形式の 10 桁のディジット。
	TGN-ID	トランクの変換には必須です。外部キー : Trunk Group テーブル。トランクグループ ID。SS7 および ISDN トランクに使用します。 INTEGER : 1 ~ 99999999。
	GAP	汎用アドレスパラメータ。トランクの変換に使用されます。 NUMERIC(10) : 10 桁の数値。